

				部会名	暮らし部会
施策No.	2-5-3	施策名	障がい者福祉の充実	施策主管課	障がい福祉課
施策の目指す姿		障がい者が自立した生活を送っています			
<p>■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度評価時の方向性に対応した形で当該年度の施策への取組みがなされていると考えられる。 <p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> しっかりと足元を見据え、適切に数字も示されており、分かりやすい分析となっていると考えられる。ちなみに、広報等には障がい者に関する情報も多く掲載されている。こうした市の取組みも施策の実現に一定の効果をもっていると考えられる。成果指標の達成度「a」評価の分析として外的要因以外にもこうした取組みに関する分析もあればさらに良かったのではないかな。 <p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な検証がなされていると考えられる。補足的な意見として、さらに成果の向上を図る事業としてあげられている「障がい者生活支援事業」については、ボランティアの募集という指標は重要だが、さらに評価の部分の掘り下げ、改善への方向性を探る切り口としてボランティア募集以外の部分にも多角的に間口を広げるような企画を検討する余地もあるのではなかろうか。 <p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組み、その成果指標の達成状況の分析と構成する事務事業の検証を踏まえた形で適切に総合的な評価がなされていると考えられる。 <p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> 正確な用語の使用、簡潔な表現、分かり易さのそれぞれを満足させるよう努力されていると考えられる。そのうえで、事務事業名として「～事業費」となっているのは違和感を感じる。 「障がい者地域生活支援拠点等整備事業」の「地域生活支援拠点等」の概念は、なかなかイメージしづらいものがある。 					